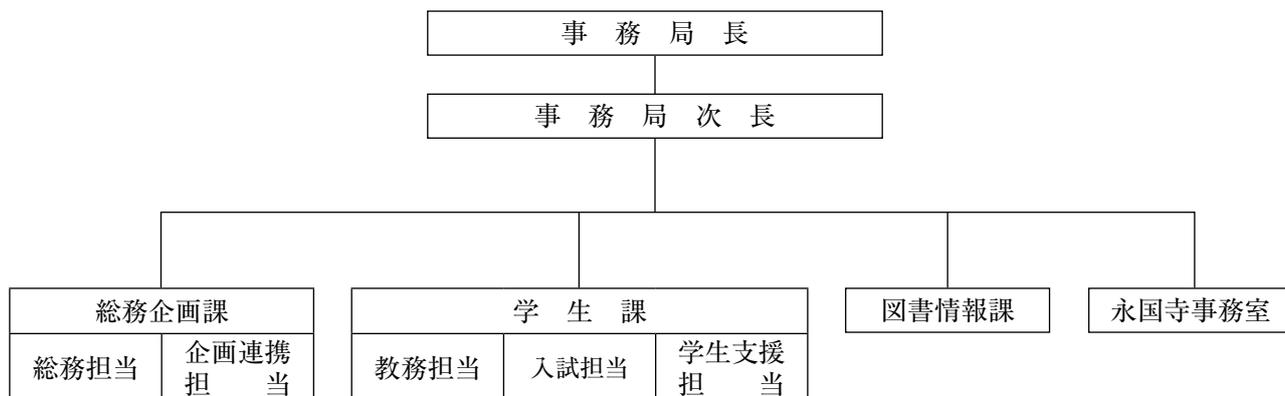
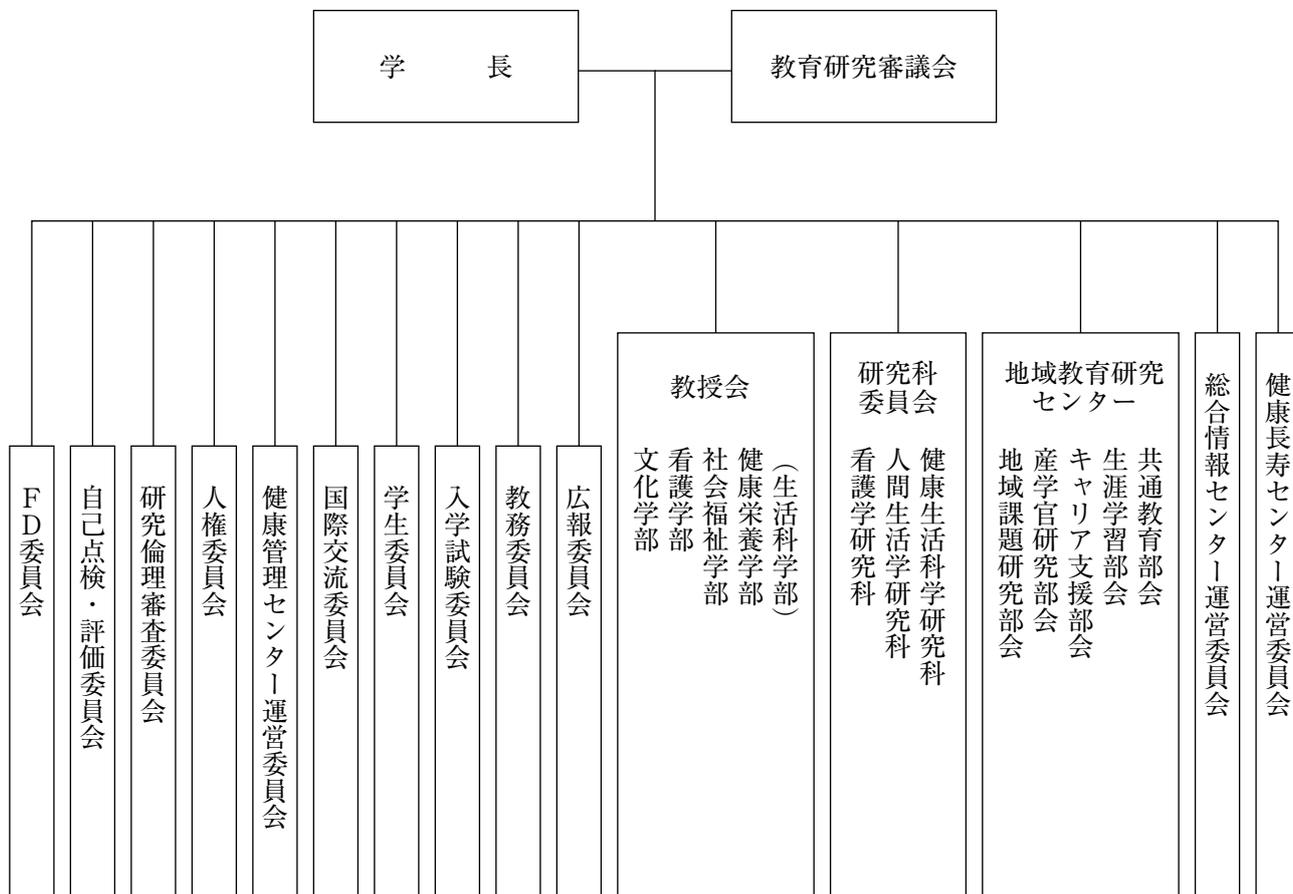


3 組織及び教職員

1 組織（平成26年度）

(1) 組織図



(2) 教職員構成

(平成26年5月1日現在)

区分	教 員								事務局職員				合計
	学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計	局 長	事 務 職 員	そ の 他	計	
現 員	1	2	41	26	16	33	2	121	1	48	1	50	171
内 訳	学 長	1						1					
	文化学部			11	6	3	0	0	20				
	看護学部			15	9	6	23	0	53				
	社会福祉学部			7	6	5	6	0	24				
	健康栄養学部			5	3	2	3	2	15				
	地域教育研究センター			5	1	0	0	0	6				
	総合情報センター			0	1	0	1	0	2				

(3) 平成26年度新規採用教員数

	学 長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計	
学長	0						0	
文化学部			3	0	0	0	0	3
看護学部			1	1	2	9	0	13
社会福祉学部			1	0	1	0	0	2
健康栄養学部			1	1	0	0	0	2
地域教育研究センター			0	0	0	0	0	0
合 計	0	6	2	3	9	0	20	

2 教 員 (平成26年度末)

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
学 長	南 裕子	1942	カリフォルニア大学サンフランシスコ校院看護学部博士課程修了	看護学博士		

○健康栄養学部

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	中村 富子	1957	大阪大学大学院医学研究科修了	博士(保健学) (大阪大学)	臨床栄養学、臨床実践栄養学、臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	・大腸腫瘍発生に及ぼす食事と運動の関連
教 授	村上 尚	1960	熊本大学大学院医学研究科中途退学	博士(医学) (徳島大学)	人体の構造と機能、疾病論、生体科学実験・実習	・生活習慣病の細胞生物学的解析
教 授	渡邊 浩幸	1960	岩手大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (岩手大学大学院)	食品学、食品機能学	・エネルギー代謝調節機能を有する食品の意義 ・栄養機能探索 ・食品の保存と加工
教 授	和田 安彦	1960	秋田大学大学院医学研究科修了	博士(医学) (秋田大学)	健康栄養学基礎、健康情報論実習、公衆衛生学、地域健康論、地域医療論、環境衛生学実習、疫学(看護)、介護論、食と介護(実習)、卒業研究	・コホートを用いた循環器疾患・生活習慣病の疫学 ・過疎地の死生観と高齢者の延命治療 ・口腔衛生における噛みごたえのある食品の活用 ・災害時における水の確保と野生食材の活用 ・給食施設等の衛生管理と労働衛生 ・Wolfram 症候群の実態調査・職業性ストレスと過労死 ・エネルギー制限による老化制御・紫外線防御と教育 ・カフェイン摂取と健康
准教授	荒牧 礼子	1958	高知女子大学大学院 人間生活学研究科 修士課程修了	修士(生活学) (高知女子大学大学院)	公衆栄養学、公衆栄養学実習、地域公衆栄養学臨地実習	・栄養表示に関する研究 ・料理書籍の出版数の推移からみた食生活スタイルに関する研究 ・勤労者世帯の生活習慣と指導効果に関する研究 ・若年成人の食物摂取に関する研究
准教授	鈴木麻希子	1978	岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻修了	博士(医学) (岐阜大学)	基礎栄養学、応用栄養学、教育実習(家庭科)	・食物アレルギー ・翻訳後修飾(メチル化アルギニン)の生理的役割
講 師	島田 郁子	1964	高知女子大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術) (高知女子大学大学院)	給食経営管理	・イスラム教徒の断食による生活リズムの変化とその修復 ・クックチルシステムの有効性に関する研究 ・高齢者の給食喫食率向上の試み-肉軟化剤等による検討-

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	西岡 道子	1969	鳥取大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (鳥取大学)	調理学、調理学実習	・加熱調理における魚肉の調理変化について ・真空調理における魚肉のビタミンB12 含量
講師	廣内 智子	1977	高知県立大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術) (高知県立大学)	臨床栄養学実習、 臨床栄養学臨地実習	・災害時の栄養管理について
助教	田中 守	1982	川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科健康科学専攻博士後期課程修了	博士(健康科学) (川崎医療福祉大学大学院)	生化学実験、 基礎栄養学実験、 応用栄養学実習等	・食物アレルギー ・食物依存性運動誘発アナフィラキシー ・食物由来成分の抗アレルギー作用
助教	沼田 聡	1984	徳島文理大学大学院人間生活学研究科食物学専攻博士前期課程修了 (論文により博士号取得)	博士(学術) (徳島文理大学)	給食経営管理実習、給食経営管理臨地実習、環境衛生学実習、地域実践栄養学臨地実習	・1型糖尿病関連自己抗体に対する超高感度酵素免疫測定法の開発 ・卵白アレルゲンに対する超高感度酵素免疫測定法の開発
助教	水島 直子	1972	高知女子大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術) 高知女子大学	地域公衆栄養学実習、地域公衆栄養学臨地実習、食と介護実習	・生活習慣病に対する栄養管理・食事療法について ・生活習慣病患者に対する栄養指導における地域連携体制の構築
助手	川村 真美	1955	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		食品学実験、 食品衛生学実験	・食品の機能性評価について
助手	彼末 富貴	1960	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習、 生体科学実験・実習	・土佐の伝統食
特任教授	逸見 幾代	1948	愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程修了	博士(農学) (愛媛大学)	栄養教育論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、栄養教育論実習Ⅰ、Ⅱ、学校栄養指導論Ⅰ、Ⅱ、学校栄養教育実習、教職実践演習	・地球環境要因、食品の栄養成分変動、各ライフステージの健康に及ぼす影響に関する研究 ・地域の生活習慣病要因の探索と予防に関する栄養教育・行動変容への展開に関する研究

○文化学部文化学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	五百蔵高浩	1963	兵庫教育大学大学院連合博士課程単位取得退学	博士(学校教育学) (兵庫教育大学)	英語言語文化演習	日本人英語学習者の第2言語音韻および語形成能力習得研究 コーパス言語学的アプローチによる英語学習語彙に関する研究
教授	芋生 裕信	1953	関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	文学修士 (関西学院大学)	日本近現代文学演習	小川国夫の研究、志賀直哉の研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	井本 正人	1949	京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学	経済学修士 (京都大学)	生活経営学, 生活経済学	・公共交通 ・生活者サイドからの地域づくり論 ・平等の経済学的研究
教授	岩倉 秀樹	1960	広島大学大学院社会科学研究所法律学専攻博士課程後期単位取得退学	法学修士 (広島大学)	現代社会論	表現の自由、選挙法
教授	大村 誠	1958	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	博士(理学) (京都大学)	防災文化論、 観光と自然環境 (共)自然災害と防災の科学	・防災全般(防災教育、地域防災、災害看護) ・人工衛星/航空機搭載合成開口レーダー(SAR)の応用 ・科学教育、サイエンスコミュニケーション
教授	橋尾 直和	1960	東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学	教育学修士 (鳴門教育大学)	日本語言語文化論演習	東アジアにおける地域言語(日本語諸方言・アイヌ語・琉球語)の文化環境言語学的研究
教授	東原 伸明	1959	国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	博士(文学) (名古屋大学)	平安朝文学演習	古事記、土左日記、源氏物語の語りと言語・テキスト分析
教授	三浦 要一	1965	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了	博士(学術) (大阪市立大学)	住生活学, 住文化史	・伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 ・歴史的建造物の復元に関する調査研究 ・大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
教授	李 春美	1963	大阪女子大学大学院文学研究科修士課程 修了	文学博士 (広島女学院大学)	イギリス文学史	シェイクスピアの『ソネット集』冒頭17篇の特異性に着目し、詩人として立身をはかろうとした戯作者シェイクスピアとパトロンの関係を探る。
准教授	金澤 俊吾	1973	東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了	博士(情報科学) (東北大学)	英語学	英語における形式と意味との対応関係に関する研究 英語における形容詞が関わる構文の意味的ネットワークに関する研究
准教授	鈴木 康郎	1969	筑波大学大学院博士課程教育学研究科	修士(教育学) 筑波大学	比較文化論演習	比較・国際教育学、東南アジアにおけるシティズンシップ教育、学校教育の国際交流
准教授	高西 成介	1968	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学	文学修士 (広島大学)	中国文学演習	六朝志怪小説、唐代伝奇小説の解説、およびそれらの作品を通して当時の社会・文化、および人々の心性の解明
准教授	山口 善成	1974	筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科	文学修士 (筑波大学)	アメリカ文学演習	19世紀半ばのアメリカにおける国家史の誕生(とりわけ国家史の誕生と自然誌との関わりについて)

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	吉川 孝	1974	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学倫理学専攻後期博士課程修了	博士(哲学) (慶應義塾大学)	哲学・倫理学	現象学派的倫理学、生き方の哲学、ケアの哲学
准教授	ジョエル・ヨース	1970	ルーヴェンカトリック大学日本学科 博士課程修了	博士(日本学)(ルーヴェン大学ベルギー)	日本思想史	自由民権運動、近代思想における「自由」
講師	飯高 伸五	1974	東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学	博士(社会人類学) (東京都立大学)	文化人類学、民俗学、観光文化論	旧南洋群島における日本統治経験に関する歴史人類学的研究、アジア・太平洋戦争の記憶に関する民族誌的研究、アジア・太平洋地域における観光と文化復興に関する研究、沖縄出身者の同郷者集団の比較研究
講師	ローレン・ウォーラー	1974	京都府立大学文学研究科、米国コロンビア大学東アジア研究	文学修士(京都府立大学)、文学修士(コロンビア大学)	日本文学	話型(天人女房説話や地名起源説話)、万葉集伝説歌、上代文学の受容史
講師	向井真樹子	1976	ニューカッスル大学大学院 School of English & Linguistics	博士(言語学) (ニューカッスル大学)	言語学	英語、スカンディナビア諸言語族、日本語の複合語
特任教授	青木 晴男	1949	早稲田大学大学院文学研究科博士課程3年次退学	文学修士 (早稲田大学)	現代イギリス文学演習	環境文学の観点から、D.H. ロレンスの作品を自然と人間のかかわり方に焦点を当て、ロマン主義作家のそれと比較しつつその独自性を明らかにする。同時に、ポストコロニアリズムやエコクリティシズムの視点からも同作家の特質を吟味する。
特任教授	佐藤 恵里	1948	早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了	博士(文学) (早稲田大学)	日本近世文学演習	近世文学・演劇に見る表現技法としての「やつし」、俄を中心とした芸能文化論

○看護学部看護学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	畦地 博子	1964	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護師のケア技術に関する研究
教授	池添 志乃	1965	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	学校保健・基礎看護学	生活の再構築に取り組む家族の介護キャリアに関する研究、子どもと家族の生きる力を支えるケアについての研究
教授	池田 光徳	1959	岡山大学大学院医学研究科博士課程修了	医学博士 (岡山大学)	専門基礎医学	長期臥床者の体表負荷のアセスメント、褥瘡の発症機序、唾液中のストレスバイオマーカー

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	内田 雅子	1960	日本赤十字看護大学大学院 博士課程修了	看護学博士 (日本赤十字看護大学)	臨床看護学・慢性病看護学	慢性透析者における生活の再編成 慢性看護実践における事例研究法の再構築 チーム・プロセスに焦点化した継続教育プログラム
教授	竹崎久美子	1960	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	老人看護学	高齢者の「居がい」について、小規模デイサービスの場づくりとケア 効果、高齢患者の自宅退院支援プログラムの開発、南海トラフ巨大 地震準備期における災害看護
教授	時長 美希	1957	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	地域看護学	アウトリーチによる保健師活動に関する研究 脆弱な対象者への地域看護介入に関する研究
教授	長戸 和子	1961	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	基礎看護学・家族看護学	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント力に 関する研究
教授	中野 綾美	1958	日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科博士課程満期 退学	看護学博士 (日本赤十字看護大学)	小児看護学	研究成果を実践に根付かせるための専門看護師を活用した臨床- 研究連携システムの構築、病気の子ども・家族の医療への参画に関 する研究
教授	野嶋佐由美	1950	カリフォルニア大学サンフラン シスコ校看護学部博士課程 修了	看護学博士 (カリフォルニア大学)	基礎看護学	患者・家族への効果的な介入方法の開発および看護ケアにおける倫 理的課題に関する研究
教授	藤田 佐和	1959	聖路加看護大学大学院看護 学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (聖路加看護大学)	総合看護学・がん看護学	在宅移行する終末期がん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針 の開発、研究-臨床連携システムによるがん患者の在宅移行エンパ ワメント看護介入の評価研究
教授	森下 利子	1950	三重大学医学部衛生学講座 衛生学専攻修了	医学博士 (三重大学)	急性期看護学	がん看護領域におけるホリスティック・アプローチを基盤とするケアモ デルの開発 在宅移行するがん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針の開 発
教授	森下 安子	1958	東京医科歯科大学医学系研 究科博士前期課程修了	看護学修士 (東京医科歯科大学)	在宅看護学	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、在宅移行を 支援に関する研究、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	松本 鈴子	1959	広島大学大学院医学系研究 科博士後期保健学専攻(単 位取得満期退学)	保健学博士 (広島大学)	母性・助産看護学	女性の出産体験に伴うトラウマ後のレジリエンスに関する研究 助産学生の実践能力を高める教育方法に関する研究
教授	山田 覚	1957	東海大学大学院工学研究科 博士課程修了	工学博士 (東海大学)	看護管理学	看護管理システムの分析と設計、看護サービスの質の向上と安定、 災害看護支援ネットワークに関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	内川 洋子	1965	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知県立大学)	看護管理学	看護におけるリーダーシップについて(看護師長、中堅看護師、看護師のリーダーシップ)、看護におけるチームワークについて、看護師に対するチームワーク教育プログラムの開発
准教授	瓜生 浩子	1969	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知県立大学)	基礎看護学	病気や障害をもつ人とともに生きる家族の体験や家族への看護に関する研究
准教授	大川 宣容	1967	千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	看護学修士 (千葉大学)	急性期看護学	「手術を受けた肺がん患者の身体経験を手がかりとした看護介入モデル」の臨床活用、災害看護支援ネットワークの運用に関する研究、シミュレーションを活用した教育プログラムの開発に関する研究
准教授	川上 理子	1967	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知県立大学)	在宅看護学	高齢者の在宅療養における家族介護者の看取り、地域を基盤とした在宅移行支援システムの開発、訪問看護師の質保証のためのプログラム検討
准教授	神原 咲子	1977	岡山大学大学院医歯学総合研究科国際環境科学講座公衆衛生学博士課程修了	医学博士 (岡山大学)	災害看護学	平時の地域モニタリングを有する減災看護モデルの構築
准教授	田井 雅子	1965	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知県立大学)	精神看護学	精神障害者の地域生活に向けた援助、統合失調症患者のセルフマネジメントに関する、家族看護エンパワメントに関する研究
准教授	佐東 美緒	1965	広島大学大学院医学系研究科博士前期課程保健学修士課程修了	保健学修士 (広島大学)	小児看護学	NICUを退院したこともとその家族を支える看護に関する研究
准教授	嶋岡 暢希	1969	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (日本赤十字看護大学)	母性・助産看護学	乳児期の子どもをもつ親の Mastery 獲得を促進する看護援助
講師	石川 麻衣	1974	千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (千葉大学)	地域看護学	公衆衛生看護の展開方法に関する研究 行政保健師の機能・役割および活動の特質に関する研究 災害時の保健活動に関する研究
講師	高谷 恭子	1975	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	小児看護学	病いととも生きる子どもと家族が辿る軌跡に関する研究
講師	廣川 恵子	1969	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	総合看護学・がん看護学	外来に通院しながら生活するがん患者の看護

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	山中 福子	1963	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	慢性期看護学	慢性疼痛(非がん性)をもつ人への看護に関する研究 慢性心不全をもつ人への看護支援に関する研究
講師	渡邊 美保	1982	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	老年看護学	高齢者のリロケーションを支援する看護ケア
助教	井上 正隆	1978	高知県立大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知県立大学)	急性期看護学	救命救急センター看護師、フライトナースを対象にしたメディカルシミュ レーターを使った教育プログラムの開発 バイオマーカーを用いたストレスの測定
助教	有田 直子	1970	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	小児看護学	病気を持つ子どもと家族の意思決定に関すること
助教	青木 美和	1985	大阪大学大学院医学系研究 科看護学専攻 博士前期課 程修了	看護学修士 (大阪大学)	がん看護学	終末期がん患者のせん妄の観察とアセスメントの視点の明確化 せん妄の早期発見に向けた看護師への教育プログラムの開発
助教	岩井弓香理	1982	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	基礎看護学	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族への看護について
助教	岩崎 順子	1970	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	母性看護学	乳児を抱える母親の Maternal Confidence についての研究
助教	大西ゆかり	1967	高知県立大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知県立大学)	慢性期看護学	リンパ浮腫と共に生きる患者の看護
助教	岡本麻由美	1974	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	老人看護学	要介護高齢者の『安心』を支えるケア
助教	小澤 若菜	1974	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	地域看護学	生活習慣病予防、働く人の健康づくりに関する研究
助教	川本 美香	1977	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	地域看護学	がん検診の精密検査を受診する人の行動に関する研究 生活習慣病の予防を目指す保健指導に関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	小原 弘子	1971	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	在宅看護学	地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発 介護職との協働を促進する訪問看護師への教育プログラムの開発 訪問看護師へのシミュレーション教育に関すること
助教	坂元 綾	1966	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学	在宅酸素療法を要する COPD 患者の社会参加を促進する看護支援 プログラムの開発
助教	下元 理恵	1972	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	慢性期看護学	慢性心不全患者の自己管理に関する研究
助教	塚原和香奈	1974	日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (日本赤十字看護大学)	小児看護学	子どもが成長発達する環境について
助教	野島 真美	1983	杏林大学大学院国際協力研 究科修士課程修了	国際医療協力学修士 (杏林大学)	急性期看護学	災害救援者のストレス反応とストレスマネジメントの研究 救急救命センターでの家族看護
助教	野町 磨意	1977	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	母性学・助産学・ 家族看護学	妊娠期における高年初産婦の家族の準備性
助教	樋口 礼子	1983	山形県立保健医療大学大学 院看護学分野修士課程修了	看護学修士 (山形県立保健医療大 学)	母性看護学・助産看護学	はじめて子育てをする父親の自信を高める看護実践のガイドラインの 作成
助教	槇本 香	1982	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護者が精神疾患をもつ人との間で用いている心理的距離の もち方を明らかにすること
助教	平山 司樹	1985	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	基礎看護学・家族看護学	パートナーシップを築くことが困難な療養者への訪問看護師のアプ ローチ
助教	三好美映子	1974	香川大学大学院医学系研究 科修士課程修了	看護学修士 (香川大学)	母性・ 助産看護学助産看護学	働く女性の妊娠・出産・育児に関すること 女性のメンタルヘルスケアに関すること
助教	森下 幸子	1961	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	在宅看護学	在宅療養者を抱える家族の Family Strengths に関する研究 医療ニーズの高い在宅療養者の家族の強みを支援する看護介入プ ログラムの開発

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	山本 かよ	1981	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	老人看護学	在宅移行期における訪問看護師によるチームメンバーとの合意形成 にむけたアプローチ
特任 教授	中山 洋子	1948	Oregon Health Sciences 大学博士課程修了	看護学博士 (Oregon Health Sciences大学)	精神看護学・災害看護学	東日本大震災における放射線災害とメンタルヘルスケアに関する研究 東日本大震災による精神科医療の崩壊とシステムの再構築 精神障害者の Self-care Assessment Tool の開発とその臨床活用 精神障害者の退院促進・地域ケアのあり方に関する研究 キャリア後期看護師の実践能力の開発とその活用
特任 准教授	久保田聰美	1962	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了看護学領域	看護学博士 (高知女子大学)	看護管理学・地域看護学	動機づけ面接 (MI: motivational interviewing) の効果、 看護管理の視点からのストレスマネジメント、 禁煙支援、リスクコミュニケーション 労働者のメンタルヘルス対策のシステムづくり クリニカルパス、多職種協働とチーム医療、退院支援のシステム創り 等
特任 講師	NgatuNlandu Rojer	1966	高知大学医学部大学院総合 人間自然科学研究科医学専 攻博士課程修了	医学博士 (高知大学医学部)	公衆衛生学	Global Health Occupational, Environmental Skin and Lung diseases (Allergy, Pneumoconiosis) . Disaster Management
特任 助教	庄司 麻美	1978	大阪府立大学大学院看護学 研究科博士前期課程修了	看護学修士 (大阪府立大学)	がん看護学	治療期の進行肺がん患者の呼吸困難感をマネジメントする統合的看護 介入モデルの開発

○ 社会福祉学部社会福祉学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	杉原 俊二	1963	香川医科大学大学院医学研 究科環境生態系専攻博士課 程	博士(医学) (香川医科大学)	児童福祉論・面接技法	ナラティブアプローチによる対人援助、自分史分析とその応用
教授	田中きよむ	1962	京都大学大学院経済学研究 科博士後期課程単位取得退 学	経済学修士 (滋賀大学)	社会保障論、 福祉行財政と福祉計画、 公的扶助論	人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築、住民主体の福祉型 地域づくりの形成要因と発展プロセス、「小さな拠点」を軸とする住民 共生型地域づくりの形成要因と持続モデル
教授	長澤紀美子	1963	新潟大学大学院現代社会文 化研究科博士後期課程修了	博士(学術) (新潟大学)	国際福祉論、 現代社会と福祉、 女性福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向、福祉(介護)サー ビスの評価・アウトカム評価、行政評価、NPM(ニュー・パブリック・マ ネジメント)政策の保健医療福祉分野への適用
教授	林 美朗	1958	富山医科薬科大学医学部北 海道大学大学院文学研究科	博士(医学)(文学) (北海道大学)	精神医学、精神保健学、 人体の構造と機能及び疾病	芸術精神医学(病跡学・芸術療法学)、仏教社会福祉学、社会精神医 学、精神病理学、精神医学史学、精神科診断学

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	丸山 裕子	1959	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (大阪府立大学)	精神保健福祉援助技術総論・福祉研究法入門	ソーシャルワーク実践過程研究 ①ソーシャルワーク実践方法(利用者参加と地域生活支援)の開発 ②ソーシャルワーカーの実践的コンピテンスの開発
教授	宮上多加子	1958	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護過程・発達と老化の理解・こころとからだのしくみ	福祉分野の専門職養成教育とキャリア意識
准教授	黒田しづえ	1950	大阪人間科学大学大学院人間科学研究科社会福祉修士課程修了	修士(人間科学) (大阪人間科学大学)	介護過程・介護の基本	ケアの在り方と実践方法
准教授	後藤由美子	1950	花園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (花園大学)	介護の基本、生活支援技術、認知症の理解	要援護者の社会活動支援に関する研究、外国人介護者の就労支援に関する研究
准教授	鈴木 孝典	1974	大正大学大学院人間学研究科博士後期課程福祉・臨床心理学専攻単位取得後退学	博士(人間学) (大正大学)	精神保健福祉論・精神保健福祉援助実習	精神障害者の居住支援に関する研究、障害者ケアマネジメント従事者の養成に関する研究、PSWの実践評価に関する研究
准教授	西内 章	1972	関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(臨床福祉学) (関西福祉科学大学)	事例研究法・相談援助実習指導	多職種連携を活用したソーシャルワークの展開方法に関する研究、エコシステム視座に基づくソーシャルワーク実践の支援ツールに関する研究
准教授	西梅 幸治	1978	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究、エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究
准教授	山村 靖彦	1967	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	地域福祉の理論と方法・コミュニティソーシャルワーク	社会的孤立の防止に寄与する社会関係資本の形成と評価に関する研究、「小さな拠点」を軸とする地域づくりに関する研究
講師	井上 健朗	1965	法政大学大学院人間社会研究科福祉社会専攻	修士(福祉社会)	医療福祉論 保健医療サービス	医療保健分野のソーシャルワーク方法論に関する研究 患者会などの当事者活動と専門職の関係に関する研究
講師	遠山 真世	1974	東京都立大学社会科学研究科博士課程修了	博士(社会福祉学) (東京都立大学)	障害者に対する支援と障害者自立支援制度・相談援助実習指導	障害者の雇用促進・就労支援にかんする研究
講師	鳩間亜紀子	1972	日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了	修士(社会福祉学) (日本社会事業大学)	高齢者福祉論	訪問介護サービスにおける生活援助に関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	福岡 隆康	1970	広島大学大学院社会科学研究所博士課程後期マネジメント専攻修了	博士(マネジメント) (広島大学)	福祉サービスの組織と経営	障害者雇用の組織マネジメントに関する研究
講師	三好 弥生	1965	立命館大学大学院社会学研究所博士前期課程修了	修士(社会学) (立命館大学)	医療的ケア・こころとからだのしくみ・コミュニケーション技術・生活支援技術	高齢者の看取りに関する研究
助教	稲垣 佳代	1983	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	精神保健福祉援助技術各論	精神障害者の就労支援に関する研究
助教	加藤 由衣	1982	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワーク教育の包括的な教育展開に関する研究、ソーシャルワークにおける現任教育方法の研究
助教	鈴木 裕介	1980	大正大学人間学研究科社会福祉学専攻修士課程修了	修士(社会福祉学) (大正大学)	医療ソーシャルワーク論	地域における高齢者の医療・福祉のフェルトニーズに関する研究
助教	田中 眞希	1976	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	生活支援技術・介護総合演習	介護職の養成教育及び現場教育とキャリア意識
助教	二本柳 覚	1980	日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント専攻修士課程修了	修士(福祉マネジメント) (日本福祉大学)	精神科リハビリテーション学	質の高い社会福祉専門職養成教育のあり方に関する研究
助教	橋本 力	1979	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程単位取得後退学	博士(学術) (大阪市立大学)	社会調査の基礎 高齢者に対する支援と介護保険制度	ケアマネジメントにおけるインフォーマル・サポート活用に関する研究

○ 地域教育研究センター

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	一色 健司	1958	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	基礎化学、地球の科学	・環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明・微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教授	宇野 浩三	1952	北海道大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学	工学博士 (北海道大学)	居住環境論、 住まいと健康と安全、 住居学	・住まい・まち・環境教育 ・水切瓦・水切庇と土佐漆喰 ・住宅・住様式の地域性 ・住宅・住環境におけるユニバーサルデザイン

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	荻沼 一男	1950	広島大学大学院理学研究科博士課程退学	理学博士(広島大学)	基礎生物学	・ハマボッスの染色体多型の解明
教授	清原 泰治	1961	筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻	体育学修士(筑波大学)	健康スポーツ科学I・II	1950~60年代における市町村民運動会の社会的機能に関する研究 高知県の中山間地域の活性化と大学教育
教授	羽田 行男	1954	早稲田大学大学院教育学研究科博士課程後期単位取得退学	教育学修士(東京学芸大学)	発達心理学、教育心理学、 教育相談論、生徒指導論	教育相談における心理臨床にもとづいた事例研究 発達に課題がある子どもに対する心理学的教育方法の研究
准教授	團野 哲也	1956	東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了	工学博士(東京工業大学)	人間の安全保障と国際協力、くらしのなかの光	・材料の分光学的キャラクタリゼーション ・パレスチナ難民に対する家庭科教育の調査研究

○ 総合情報センター

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	風間 裕	1959	北海道大学大学院理学研究科博士課程修了	理学博士(北海道大学)	物理学通論,量子物理学	・コンピュータを用いた物理学の教材開発・軽い核の構造解析
助教	名和 真一	1963	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	情報処理概論、 コンピュータリテラシ	・核力と量子色力学(QCD)、計算機物理

【大学院】(平成27年3月31日現在)

○看護学研究科看護学専攻<博士前期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
-	教授	藤田 佐和	がん看護論、看護倫理、がん看護課題研究、がん看護看護学実践演習ほか
-	教授	池添 志乃	看護理論と実践、学校保健研究、地域保健学研究方法I・II
-	教授	池田 光徳	病態生理学、フィジカルアセスメント特論、がん病態生理学ほか
-	教授	内田 雅子	慢性看護論、慢性看護課題研究、慢性看護学実践演習I～Vほか
-	教授	竹崎 久美子	老人看護論、老人看護展開論I・II、老人看護課題研究、看護倫理ほか
-	教授	時長 美希	地域看護論、地域看護展開論I・II、地域ケア研究、地域看護課題研究ほか
-	教授	長戸 和子	家族看護論、家族看護援助論、家族ケアの開発、家族看護学実践演習I～IVほか
-	教授	中野 綾美	小児看護論、小児看護対象論、小児看護方法論I・II、小児看護学課題研究ほか
-	教授	野嶋 佐由美	看護理論と実践、看護研究と実践、精神看護論
-	教授	松本 鈴子	母性、助産看護ケア研究
-	教授	森下 利子	クリティカルケア看護論I・II、クリティカルケア看護学実践演習I・II・IVほか
-	教授	森下 安子	在宅看護論、在宅看護展開論I・II、在宅看護学実践演習I～Vほか
-	教授	山田 覚	看護管理論、システム経営管理論、看護サービス管理論ほか
-	特任教授	畦地 博子	精神看護論、精神看護対象論、精神看護実践演習I～Vほか
-	特任教授	中山 洋子	看護学の動向と展望
-	准教授	内川 洋子	看護サービス管理論、看護マネジメント論、臨床看護管理研究ほか
-	准教授	瓜生 浩子	家族と病気、家族看護学実践演習I～IV、家族ケアの開発ほか
-	准教授	大川 宣容	クリティカルケア看護方法論I～IV、クリティカルケア看護学実践演習I・III・V
-	准教授	川上 理子	在宅看護方法論I、在宅看護展開論I、在宅看護学実践演習I～Vほか
-	准教授	佐東 美緒	小児看護対象論、小児看護方法論I・II、小児看護学実践演習I～V
-	准教授	田井 雅子	精神看護展開論I・II・IV、精神看護学実践演習I～III、精神看護ケア研究
-	講師	石川 麻衣	看護基盤論
-	講師	廣川 恵子	緩和ケア特論、がん看護方法論III、がん看護学実践演習I
-	特任助教	有田 直子	小児看護方法論I・II、小児看護学実践演習I～V

○看護学研究科看護学専攻<博士後期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
-	教授	藤田 佐和	看護学特別研究I～III、看護理論学、看護倫理学、がん看護論I・II
-	教授	池添 志乃	学校保健学
-	教授	池田 光徳	看護学特別研究I～III、医学研究方法論、看護病態生理学I・II
-	教授	内田 雅子	看護学特別研究I～III
-	教授	竹崎 久美子	老人看護学I・II
-	教授	時長 美希	看護学特別研究I～III、地域看護学I・II
-	教授	長戸 和子	看護学特別研究I～III、家族看護学I・II
-	教授	中野 綾美	看護学特別研究I～III、看護学研究方法I、小児看護学I・II
-	教授	野嶋 佐由美	看護学特別研究I～III、看護理論学、看護学研究方法I、精神看護学I
-	教授	森下 利子	成人看護学
-	教授	山田 覚	看護学特別研究I～III、看護学研究方法II、看護経営管理学I・II
-	特任教授	中山 洋子	解釈的看護学
-	准教授	瓜生 浩子	家族看護学I・II
-	准教授	田井 雅子	精神看護学II

○看護学研究科共同災害看護学専攻<博士課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
-	教授	南 裕子	博士論文、災害看護理論構築
-	特任教授	中山 洋子	博士論文、看護研究方法、理論看護学Ⅱ、看護研究方法論Ⅴほか
-	教授	野 嶋 佐由美	看護研究方法、理論看護学Ⅱ、インディペンデントスタディ(演習)Aほか
-	教授	山 田 覚	災害看護管理・指揮論
-	准教授	神 原 咲子	博士論文、災害看護管理・指揮論、インディペンデントスタディ(演習)Aほか
-	教授	中 野 綾美	看護研究方法
-	教授	藤 田 佐和	理論看護学Ⅱ
-	特任講師	NGATU NLANDU Roger	Professional writing
-	教授	大 村 誠	環境防災学
-	教授	吉 川 孝	看護研究方法論Ⅴ

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士前期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
福祉	教授	杉 原 俊 二	課題研究演習、児童福祉論、児童福祉演習
基礎	教授	宇 野 浩 三	課題研究演習、住環境論
基礎	教授	羽 田 行 男	教育学特論
基礎	准教授	團 野 哲 也	課題研究演習、データ解析論
基礎	准教授	吉 川 孝	課題研究演習、研究と倫理
栄養	教授	一 色 健 司	課題研究演習、研究方法論Ⅰ、環境解析論
栄養	教授	荻 沼 一 男	課題研究演習、環境生態論、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ
栄養	教授	中 村 富 予	課題研究演習、研究方法論Ⅰ、人間栄養論Ⅰ
栄養	教授	和 田 安 彦	課題研究演習、健康動態論、栄養・生活統計論、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ
栄養	教授	渡 邊 浩 幸	課題研究演習、食品科学論Ⅰ・Ⅱ、食物科学論、食品科学実践演習ほか
栄養	特任教授	逸 見 幾 代	食生活論Ⅰ・Ⅱ、食生活論演習
栄養	准教授	鈴 木 麻希子	人間栄養論Ⅱ、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ、食生活論Ⅰ・Ⅱほか
福祉	教授	田 中 きよむ	課題研究演習、社会保障論、福祉行財政論
福祉	教授	長 澤 紀美子	課題研究演習、研究方法論Ⅱ、国際福祉論、国際福祉演習
福祉	教授	丸 山 裕 子	課題研究演習、精神科ソーシャルワーク論
福祉	教授	宮 上 多加子	課題研究演習、介護福祉論、介護福祉演習
福祉	准教授	鈴 木 孝 典	人間生活論演習Ⅱ、障害者福祉論、精神保健福祉論
福祉	准教授	西 内 章	人間生活論演習Ⅱ、ソーシャルワーク論、高齢者福祉論
福祉	准教授	山 村 靖 彦	研究方法論Ⅱ、地域福祉論、地域福祉ソーシャルワーク演習
文化	教授	五百藏 高 浩	課題研究演習、英語文化論Ⅰ、英語教育学特論Ⅰ・Ⅱほか
文化	教授	李 春 美	英文学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅱ
文化	教授	芋 生 裕 信	課題研究演習、日本文化論Ⅱ
文化	教授	井 本 正 人	課題研究演習、地域文化論Ⅱ
文化	教授	大 村 誠	課題研究演習、研究方法論Ⅲ
文化	教授	橋 尾 直 和	地域文化論Ⅰ
文化	教授	東 原 伸 明	課題研究演習、研究方法論Ⅲ、日本文化論Ⅰ
文化	教授	三 浦 要 一	課題研究演習、地域文化論Ⅲ
文化	特任教授	青 木 晴 男	英文学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅱ
文化	特任教授	佐 藤 恵 里	課題研究演習

領域	職名	氏名	主たる担当科目
文化	准教授	金澤俊吾	研究方法論Ⅲ、英語文化論Ⅱ、英語学特論Ⅰ・Ⅱほか
文化	准教授	ジョエル・ヨース	日本文化論Ⅲ、国際日本学、国際日本学特論
文化	准教授	高西成介	中国文化論
文化	准教授	山口善成	英語文化論Ⅲ、米文学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅱ

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士後期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
福祉	教授	杉原俊二	特別研究、児童・家族福祉学、障害者福祉学
栄養	教授	宇野浩三	特別研究、居住環境学
栄養	教授	大村誠	特別研究、地球環境解析学
栄養	教授	荻沼一男	特別研究、環境生態学
栄養	教授	中村富予	特別研究、人間栄養学
栄養	教授	和田安彦	特別研究、健康動態学
栄養	教授	渡邊浩幸	特別研究、食品機能学
福祉	教授	長澤紀美子	特別研究、国際福祉政策学、地域福祉学
福祉	教授	宮上多加子	特別研究、介護福祉学、地域福祉学
共通	教授	五百蔵高浩	言語・コミュニケーション論
共通	教授	東原伸明	表象・メディア論
共通	教授	三浦要一	居住文化論

○健康生活科学研究科健康生活科学専攻<博士後期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	佐藤恵里	身体表現論
看護	教授	野嶋佐由美	看護学特別研究、看護科学と理論、看護科学と研究Ⅰ
看護	教授	山田覚	看護学特別研究、看護システム経営論、看護科学と研究Ⅱ
看護	教授	中野綾美	看護学特別研究、小児看護論
看護	教授	藤田佐和	看護学特別研究、看護科学と理論、看護科学と倫理、がん看護論
看護	教授	森下利子	成人看護論
看護	教授	時長美希	看護学特別研究、地域看護論
看護	教授	長戸和子	看護学特別研究、家族看護論Ⅱ
看護	教授	池田光徳	看護学特別研究、生命科学論
看護	教授	池添志乃	学校保健支援論
生活	教授	荻沼一男	生活科学特別研究、環境生態論
生活	教授	大村誠	地球環境解析論
生活	教授	宇野浩三	生活科学特別研究、居住環境論
生活	教授	中村富予	臨床栄養論
福祉	教授	宮上多加子	社会福祉学特別研究、介護支援論
福祉	教授	杉原俊二	社会福祉学特別研究、児童・家族福祉論

【非常勤講師】(平成27年4月1日現在)

	氏 名	専門分野(担当科目)
文 化 学 部	岡 崎 帛	書道
	内 田 洋 子	NPO論
	小 幡 尚	日本史
	中 島 久 枝	比較日本学Ⅰ
	ジェニー・カーン	比較日本学Ⅱ、中級英語スピーキング、上級英語スピーキング
	塩 見 由 利	比較文学
	松 吉 明 子	日本語コミュニケーションⅠ・国際日本学Ⅴ・Ⅵ
	今 井 多衣子	日本語教育実践研究Ⅰ・Ⅱ・日本語教育学Ⅰ・Ⅱ
	池 純 子	日本語教育学Ⅰ
	大 櫛 敦 弘	アジア思想史
	廣 田 佳 久	考古学
	池 谷 江理子	ジェンダー論・ジェンダー論講読B
	フーク・シュテファン	ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ
	斎 藤 昌 人	ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ
	安 藤 麻 貴	フランス語初級Ⅰ・Ⅱ・フランス語中級Ⅰ・Ⅱ
看 護 学 部	是 永 正 敬	微生物学
	小 松 利 広	微生物学
	清 水 翔 吾	薬理学
	大 迫 洋 治	人体の構造Ⅰ人体の構造Ⅱ
	谷 口 睦 男	人体の機能Ⅰ人体の機能Ⅱ
	藤 田 博 一	心のしくみ
	明 神 和 弘	心のしくみ
	上 村 直 人	心のしくみ
	泉 本 雄 司	心のしくみ
	川 崎 育 郎	心理学理論と心理的支援
	高 畠 大 典	病態と治療Ⅱ
	三 宅 陽一郎	病態と治療Ⅱ
	小 野 憲 昭	病態と治療Ⅱ
	福 井 直 樹	病態と治療Ⅱ
	寺 石 文 則	病態と治療Ⅱ
	尾 崎 和 秀	病態と治療Ⅱ
	田 村 耕 三	病態と治療Ⅱ
	大 森 貴 夫	病態と治療Ⅱ
	穴 山 貴 嗣	病態と治療Ⅱ
	砥 谷 和 人	病態と治療Ⅰ
	高 橋 美 枝	病態と治療Ⅰ
	福 井 康 雄	病態と治療Ⅰ
	細 木 信 吾	病態と治療Ⅰ
	菅 野 尚	病態と治療Ⅰ
	上 村 由 樹	病態と治療Ⅰ
	土 山 芳 徳	病態と治療Ⅰ
	森 田 雅 範	病態と治療Ⅰ
	宮 本 真太郎	病態と治療Ⅰ
	大 西 広 志	病態と治療Ⅰ
	熊 田 孝 恒	行動科学
宮 野 伊知郎	公衆衛生学	
弘 田 量 二	公衆衛生学	
栄 徳 勝 光	公衆衛生学・健康管理論	
田 上 豊 資	地域医療政策	

	氏 名	専門分野(担当科目)
看護学部	福 永 一 郎	地域医療政策
	松 本 女 里	医療史
	岡 谷 恵 子	看護と政策
	手 島 恵	看護学の動向と課題
	武 田 明 雄	医療と経営
	渡 辺 慶 子	医療と経営
	深 田 順 一	医療と経営
	吉 川 清 志	医療と経営
	服 部 暁 昌	医療と経営
	山 本 雅 子	医療と経営
	久保田 加代子	医療と経営
	宮 本 寛	在宅医療
	川 添 哲 嗣	在宅医療
	松 本 務	在宅医療
	堀 川 俊 一	健康管理論
	豊 田 誠	健康管理論
	菅 沼 成 文	健康管理論
	吉 川 清 志	小児と疾患
	中 田 裕 生	小児と疾患
	金 澤 亜 錦	小児と疾患
	西 内 律 雄	小児と疾患
	今 城 沙 都	小児と疾患
	所 谷 知 穂	小児と疾患
	宮 澤 真 理	小児と疾患
	丸 山 秀 彦	小児と疾患
	佐々木 潔	小児と疾患
	南 晋	母性学助産診断論
	松 本 光 弘	母性学助産診断論
	小 松 淳 子	母性学助産学
	永 井 立 平	母性学・危機管理(周産期医療)・助産診断論
	山 本 寄 人	助産学・助産診断論
	木 下 宏 実	母性学・危機管理(周産期医療)・助産診断論
	林 和 俊	母性学・危機管理(周産期医療)・助産診断論
社会福祉学部	野 中 由 彦	就労支援サービス
	玉 里 恵美子	社会理論と社会システム
	上 村 幸 雄	権利擁護と成年後見制度
	川 崎 育 郎	心理学理論と心理的支援
	川 口 順 子	生活支援技術Ⅳ
	丸 岡 利 則	社会福祉史
宮 本 博 之	更正保護制度	
健康栄養学部	中 西 三 紀	フードシステム学
	大 倉 三 洋	運動生理学
	網師本 真 季	こころと身体活動
	川 崎 育 郎	保育学
	清 澤 秀 孔	生化学Ⅰ・Ⅱ
	富 永 麻 理	生化学実験
	川 口 順 子	服飾造形実習Ⅰ・Ⅱ
森 岡 美 帆	食と介護・介護論	
共通教育科目	池 田 和 夫	心の科学(心理学)
	門 脇 加江子	芸術論Ⅰ

